

6-3

Department of Civil and Environmental Engineering

環境土木工学科

工学部 環境土木工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、環境土木工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(工学)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図形コミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～M

I 環境土木工学技術者に向けての自己形成能力 J 構造物の設計・施工・維持管理に関する基礎的能力 K 自然環境の活用に関する基礎的能力
L 空間情報を計測・分析・評価する基礎的能力 M 環境土木工学の統合化能力

教育目標

激甚化する災害を防ぎながら、地域の自然・文化と調和する、安全で安心、健康で持続性のある環境づくりが求められている。本学科では、山・平野・海に恵まれた北陸を主な調査・実践のフィールドとし、ICTを取り入れた次世代型の土木技術を活用しながら、道路・鉄道・港などのインフラの整備とともに、地域の自然や文化と共生する環境の構築について学習し、グローバル時代の国際開発も意識した、幅広い計画・設計・施工・メンテナンス・運営できる人材を育成する。

課程区分	科目区分	科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数					
			1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究			
修学基礎教育課程	修学基礎	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②									4	—	—	
		人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1	▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本語(日本と日本人) A ① ▶ 日本語(日本と日本人) B ①	※1	▶ 科学技術者倫理 ②	※1					7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①										2	—	—
		人間と自然	▶ 人間と自然											2	—	—
英語教育課程	英語	英語	□ イングリッシュピクチャー1 ②	□ イングリッシュピクチャー2 ②	□ イングリッシュピクチャー3 ②	□ イングリッシュピクチャー4 ②										
		英語	□ イングリッシュピクチャー3 ②	□ イングリッシュピクチャー4 ②	□ ビジネスコミュニケーション2 ②	□ ビジネスコミュニケーション1 ②										
		英語	□ イングリッシュピクチャー5 ②	□ アカデミックリーディング1 ②	□ アカデミックリーディング2 ②	□ アカデミックリーディング1 ②	基礎 初級(案1) 初級(案2) 中級(案1) 中級(案2) 中級(案3)							8		
		英語		□ TOEIC 初級 ② □ TOEIC 中級 ② □ インテンシブイングリッシュ ②												※3
数理・DS・AI教育課程	数理基礎	数理基礎	▶ 技術者のための数理 I ② ▶ 技術者のための数理 II ②	▶ 線形代数 ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ①	▶ データサイエンス基礎 II ①											
		数理基礎		□ データサイエンス物理 ② □ アドバンスト数理 A ②	□ アドバンスト数理 B ② □ 技術者のための数理 III ②	□ 技術者のための統計 ②	※1						9	2		
基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト	基礎プロジェクト	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②										
		基礎プロジェクト		一部科目の記載はp91参照										10	—	—
専門教育課程	専門科目	専門科目	▶ 工学大意(環境土木) ② ▶ 測量学 I ② ▶ 構造力学 I ② □ 土木数理 ②	▶ 環境土木工学設計 I ② ▶ 測量学 II ② ▶ アカデミックライティング ① ▶ 構造力学 II ② ▶ アカデミックドローイング ①	▶ 環境材料学 ② ▶ 土質力学 I ② ▶ 水理学 I ② ▶ 測量実習・演習 I ②	▶ 環境土木工学設計 II ② ▶ 鉄筋コンクリート工学 ② ▶ 土質力学 II ② ▶ 水理学 II ②	▶ 土施工学 ② ▶ 測量実習・演習 II ② ▶ 環境土木専門実験・演習 A ③ □ 交通工学 ② □ 構造設計学 ② □ 地盤工学 ② □ 空間情報工学 ② □ 環境工学 I ② □ 防災工学 I ② □ 建設マネジメント I ②	▶ 環境土木専門実験・演習 B ③ □ 地域環境デザイン ② □ 地盤工学演習 ② □ 空間情報工学演習 ② □ 構造設計演習 ② □ 環境工学 II ② □ 防災工学 II ② □ 建設マネジメント II ②						60	※3	
		専門プロジェクト科目					▶ イノベーション基礎 ①	▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧				10	—	—	
		その他					□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①						—	—	—
全課程から提供	リベラルアーツ系科目		科目の記載はp149-150参照										—	12	※2	

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

合計 **124**

カリキュラムガイド

詳細は次ページへ

キーワード

市民生活の安全・安心や「暮らしやすさ」を支えるインフラ

国土・地域と都市の計画・デザイン

地域の文化・環境の継承と構築

科目群の主な学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期
環境土木工学技術者に向けての自己形成能力 (I) 講義、フィールド見学、社会人による講演などさまざまなアプローチにより、業種および職種が多岐にわたる建設業界を学び理解することができる。さらに環境土木工学の技術者になるための自己のキャリアパスを描くことで自己形成能力を身につけることができる。	▶ 工学大意 (環境土木) ②	▶ 環境土木工学設計 I ② ▶ アカデミックライティング① ▶ アカデミックドローイング①		▶ 環境土木工学設計 II ②	▶ 土木施工学 ②			
構造物の設計・施工・維持管理に関する基礎的能力 (J) 土木力学、構造力学、コンクリート工学など構造物の基礎を学び、構造物の設計・施工・維持管理に関する基礎的能力を身につけることができる。	□ 土木数理 ② ▶ 構造力学 I ②	▶ 構造力学 II ②		▶ 環境材料学 ② ▶ 鉄筋コンクリート工学 ②	□ 構造設計学 ②	□ 構造設計演習 ②		
自然環境の活用に関する基礎的能力 (K) 土の性質と水の流れの基礎を学び、自然環境の活用に関する基礎的能力を身につけることができる。			▶ 土質力学 I ② ▶ 水理学 I ②	▶ 土質力学 II ② ▶ 水理学 II ②	□ 地盤工学 ②	□ 地盤工学演習 ②		
空間情報を計測・分析・評価する基礎的能力 (L) 情報通信工学を活用した空間情報工学・衛星測位など最新の計測手法を学び、環境情報を処理・解析および評価することができる。	▶ 測量学 I ②	▶ 測量学 II ②	▶ 測量実習・演習 I ②		▶ 測量実習・演習 II ②			▶ プロジェクトデザイン III ⑧
環境土木工学の統合化能力 (M) 環境土木工学の基礎知識を統合化した環境技術・防災技術・地域計画を学び、安全・安心で持続性のある地域環境を構築し運営できる能力を身につけることができる。					□ 空間情報工学 ② □ 環境工学 I ② □ 防災工学 I ② □ 建設マネジメント I ② □ 交通工学 ② ▶ 環境土木専門実験・演習 A ③	□ 空間情報工学演習 ② □ 環境工学 II ② □ 防災工学 II ② □ 建設マネジメント II ② □ 地域環境デザイン ② ▶ 環境土木専門実験・演習 B ③		
プロジェクトデザイン能力 プロジェクトデザイン手法を学び、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につけ、問題を発見しそれを解決するアイデアを提案する能力を身につけることができる。	● プロジェクトデザイン入門(実験)②	● プロジェクトデザイン I ②	● プロジェクトデザイン II ②	● プロジェクトデザイン実践(実験)②	▶ イノベーション基礎①	▶ 専門ゼミ ①		
キャリアデザイン能力 関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。					□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①		
		□ 専門教養特別科目						

この枠内の科目は「リベラルアーツ系科目」として開講される

▶ 必修科目 □ 選択科目 ● 他課程の科目 ○付数字は単位数を表す